

病理学(寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
助 手 荒 川 良

◆ 原 著

- 1) Syafruddin, Arakawa R., Kamimura K., and Kawamoto F. : Penetration of the mosquito midgut wall by the ookinetes of *Plasmodium yoelii nigeriensis*. Parasitol. Res. **77** : 230-236, 1991.
- 2) Kamimura K. : Field evaluation of an insect growth regulator, pyriproxifen, against the housefly, *Musca domestica*. Jpn. J. Environ. Entomol. Zool. **3** : 1-6, 1991.
- 3) Kamimura K., and Arakawa R. : Field evaluation of an insect growth regulator, pyriproxifen, against *Culex pipiens pallens* and *Culex tritaeniorhynchus*. Jpn. J. Sanit. Zool. **42** : 249-254 ; 1991.
- 4) Okazawa T., Miyagi I., Toma T., Ramalingam S., and Chang M. S. : Egg morphology and observations on the laboratory biology of *Armigeres (Leicesteria) digitatus* (Diptera : Culicidae) from Sarawak. J. Med. Entomol. **28** : 606-610, 1991.
- 5) Okazawa T., Vaisui L., Suzuki H., and Kere N. : Resistance of *Anopheles farauti* eggs to desiccation. Jpn. J. Sanit. Zool. **42** : 65-67, 1991.
- 6) 渡辺 護, 竹部幸子, 荒川 良, 上村 清, 小橋恭一 : オオモリハマダラカの各種殺虫剤に対する感受性とエステラーゼ活性. 衛生動物 **42** : 33-42, 1991.
- 7) 上村 清, 荒川 良, Syafruddin, 福田京子, 真保 俊, 沢田石 勝, 田中 功 : 富山で最近経験した蛔虫迷入症 7 例, とくに急性腹症およびイレウス患者からの内視鏡による摘出例. 寄生虫学雑誌 **40** : 363-367, 1991.
- 8) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二 : 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類のマーキングによる高所移動の確認. 衛生動物 **42** : 275-280, 1991.
- 9) 松野正知, 村上巧啓, 足立雄一, 足立陽子, 萱原昌子, 岡田敏夫, 荒川 良, 河合幸一郎, 五十嵐隆夫 : 免疫化学的測定法を用いた空中ユスリカ抗原の定量的測定. アレルギー **40** : 51-59, 1991.
- 10) 渡辺 護, 荒川 良, 岡沢孝雄, 上村 清 : 中部山岳国立公園立山の観光ルート沿いで発生する蚊類の季節消長. 富山県衛研年報 **14** : 62-66,

1991.

◆ 症例報告

- 1) 上村 清, 荒川 良, 小杉光世 : ヒロズキンバエによる傷ハエ症の 1 例. 衛生動物 **42** : 151-152, 1991.

◆ 学会報告

- 1) 岡沢孝雄 : ソロモン諸島国のマラリア, 第15回日本熱帯医学会九州支部大会, 1991, 1, 那覇.
- 2) 上村 清, 荒川 良 : 畜舎堆肥溜に処理した昆虫成長制御剤ピリプロキシフェンによるイエバエの駆除効果. 第43回日本衛生動物学会大会, 1991, 4, 神戸.
- 3) 荒川 良, 岡沢孝雄, 福田京子, 上村 清 : イエバエ総合防除へのアプローチイエバエに寄生する 3 種寄生蜂の寄生能力. 第43回日本衛生動物学会大会, 1991, 4, 神戸.
- 4) 岡沢孝雄, 上村 清, 佐々 学 : 富山県利賀村のユスリカ相について. 第43回日本衛生動物学会大会, 1991, 4, 神戸.
- 5) 稲岡 徹, Burger J. F., 上村 清, 倉橋 弘, Afzal M. : パキスタン産アブの動物地理学. 第43回日本衛生動物学会大会, 1991, 4, 神戸.
- 6) 上村 清, 荒川 良, シャフルディン, 福田京子 : 1990年に経験した回虫症 6 例, とくに急性腹症およびイレウス患者からの内視鏡による摘出例. 第60回日本寄生虫学会大会, 1991, 4, 大阪.
- 7) Syafruddin, Kawamoto F., Arakawa R., and Kamimura K. : In vitro cultivation of the mosquito stage of *Plasmodium berghei* ANKA strain. 第60回日本寄生虫学会大会, 1991, 4, 大阪.
- 8) 福田京子, 荒川 良, 岡沢孝雄, 上村 清 : 日本脳炎媒介コガタイエカのライトトラップによる消長調査法の検討. 第9回北陸病害動物研究会, 1991, 6, 富山.
- 9) 上村 清, 荒川 良, 岡沢孝雄, シャフルディン, 福田京子 : 富山医薬大寄生虫学教室の研究紹介. 第9回北陸病害動物研究会, 1991, 6, 富山.
- 10) 荒川 良, 渡辺 護, 上村 清 : 中部山岳国立公園立山の観光ルート沿いで発生する蚊類の季節消長. 第46回日本衛生動物学会西日本支部大会, 1991, 10, 福井.
- 11) 上村 清, Syafruddin, 荒川 良 : インドネシアのスラウェシ島における蚊の調査(予報). 第46回日本衛生動物学会西日本支部大会, 1991, 10, 福井.
- 12) 池庄司敏明, 渡辺 護, 荒川 良 : クサギカメムシ駆除に関する 2, 3 の基礎実験. 第43回日本

衛生動物学会東日本支部大会, 1991, 10, つくば.

- 13) 渡辺 護, 品川保弘, 麻柄 隆, 川原たま子, 荒川 良, 小浜卓司, 小菅喜昭, 池庄司敏明: クサギカメムシの家屋侵入阻止の1方法. 第7回日本ペストロジー学会大会, 1991, 11, 静岡.

◆ その他

- 1) 荒川 良: 富山県立山の衛生害虫—クロバエとクサギカメムシ. *Lupe* 28: 10-15, 1991.

細菌学・免疫学

教授 村 口 篤
講師 坂 本 憲 市
助手 河 合 幸 一 郎
助手 鈴 木 修 一 郎
文部技官 井 上 裕 美 子

◆ 著 書

- 1) 村口 篤: インターロイキンによって誘導されるIgクラススイッチの生化学的機序. 「臨床免疫」23: 178-188, 1991.
2) 村口 篤, 高津聖志: 免疫学の働き91「免疫91」, 中山書店, 198-202.

◆ 原 著

- 1) Kawai K.: Seven new chironomid species. (Diptera, Chironomidae) from Japan. *Jpn. J. Limnol.*, 52: 161-171, 1991.
2) Baur, X., Liebers, V., Magur, G., Becker, W. M., Kagen, S. L. and Kawai K.: Immunological cross-reactivity of hemoglobins in the Diptera family Chironomidae. *Allergy*, 46: 445-451, 1991.
3) Dohi, K., Iwano, M., Muraguchi, A., Horii, Y., Hirayama, T., Ogawa, S., Shiki, H., Hirano, T., Kishimoto, T. and Ishikawa, H.: The prognostic significance of urinary interleukin 6 in IgA nephropathy. *Clinical Nephrology*, 35: 1-5, 1991.
4) Nishimoto, N., Yoshizaki, K., Eiraku, K., Machigashira, K., Tagoh, H., Ogata, A., Kuritani, T., Osame, M., and Kishimoto, T.: Elevated levels of interleukin 6 in serum and cerebrospinal fluid of HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *J. Neurol. Sci.*, 97: 183-193, 1990.
5) Yoshizaki, K., Nishimoto, N., Matsumoto, K., Tagoh, H., Taga, T., Deguchi, Y., Kuritani, T., Hirano, T., Hashimoto, K., Okada, N., and Kishimoto, T.: Interleukin 6 and its receptor expres-

sion on the epidermal keratinocytes. *Cytokine* 2: 381-387, 1990.

- 6) Numata, Y., Matsuura, S., Onishi, S., Yamamoto, Y., Ohno, F., Tagoh, H., Yoshizaki, K., Fujimoto, S., and Yamamoto, H.: Casereport: Interleukin-6 positive follicular hyperplasia in the lymph node of a patient with rheumatoid arthritis. *Am. J. Hematol.* 36: 282-284, 1991.
7) 森永秀夫, 田沢賢次, 坂本憲市, 勝山新弥, 山本克弥, 岡本政宏, 笠木徳三, 小西健一, 藤巻雅夫: OK-432-MCT-Emulsion およびグレスチン (PSK) の経口投与による肝転移抑制効果 BIOTHERAPY: 5, 263-267, 1991.
8) 松野正知, 村上巧啓, 足立雄一, 足立陽子, 菅原昌子, 岡田敏夫, 荒川 良, 河合幸一郎, 五十嵐隆夫: 免疫化学的測定法を用いた空中ユスリカ抗原の定量的測定. *アレルギー*, 40: 51-59, 1991.
9) 田合ひろみ, 緒方 篤, 吉崎和幸: IL-6 の生体内機構と疾患. *Annual Review 免疫*, 181-191, 1991 (中外医学社)
10) 吉崎和幸, 緒方 篤, 田合ひろみ: リンパ増殖性疾患とサイトカイン *Annual Review 免疫*, 225-231, 1991 (中外医学社)
- #### ◆ 学会報告
- 1) 坂本憲市, 山本克弥, 森永秀夫, 島田 薫, 河合幸一郎, 小西健一: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の抗腫瘍活性について (第17報) —肝転移抑制に関する検討—第64回日本細菌学会総会, 1991, 3, 大阪
2) Mochammad Hatta, 島田 薫, 坂本憲市, 山本克弥, 森永秀夫, 河合幸一郎: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の抗腫瘍活性について (第18報) —細胞分画による有効成分の抽出—第64回日本細菌学会総会, 1991, 3, 大阪.
3) 森永秀夫, 坂本憲市, 田沢賢次, 勝山新弥, 山本克弥, 岡本政宏, 笠木徳三, 藤巻雅夫: *Lentinus Edodes Mycelia* (LEM) の経口投与による肝転移抑制効果, 第12回癌免疫外科研究会, 1991, 3, 横浜.
4) 森永秀夫, 田沢賢次, 坂本憲市, 勝山新弥, 山本克弥, 岡本政宏, 笠木徳三, 藤巻雅夫: KRESTIN の経口投与による肝転移抑制効果, 第4回, 富山癌治療懇話会, 1991, 5, 富山.
5) 坂本憲市, 山本克弥, 森永秀夫: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の肝転移抑制効果. 第50回日本癌学会総会, 1991, 9, 東京.